

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念「自然を敬い、人を愛し、産業とアートの発展に貢献する」と明文化し、弊社ホームページにて「仕事を通じて、貧困を解決し、地球環境保全に貢献できますことは現代の地球環境に生きる一人の人間として最高の機会」と公表し、ステークホルダーと共有し目標達成に向け実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンスに関わるニュースには特にその原因について注意を払い、法令遵守を徹底している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に関与しないよう取引先とのやり取りには十分に注意を払い、その体制を整備している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		代表取締役 高田加代子が担当し、自らの事業活動が社会・環境におよぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		弊社はデザイン、印刷を生業としているため、日々、著作権や商標等については敏感に社内・外ともにチェックをしている。これに違反する制作物は作成することは許されないという認識で日々製品を制作している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報漏洩することのないようデータ管理、書類管理を行っている。廃棄紙ゴミについても機密文書破棄の必要のあるものを分別し、適切な廃棄処理場にて廃棄している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先や行政機関ほか連携会議、協議会などを通して、ステークホルダーとの対話の場をもつと同時に、日頃の取引の場面で、双方向の意見を言いやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	弊社の事業自体がSDGsに貢献する紙製品の企画、製造、販売であるため、サプライヤーや事業パートナーとも必然的にSDGsの取組や貢献についてディスカッションする場面は多い。脱プラやCO2削減材料などの情報共有も頻繁に行い、より良い体制づくりに取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	後継者育成についてその可能性と適正について検討している。大変若い世代ではあるが、共に目指す世界観を共有できる人材がおり世代にあった育成を試みている。								8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・弊社自体がWFTO(世界フェアトレード機関)認定の紙・ワンプラネット・ペーパーの協議会メンバーであり、企画・製造・販売を行っている。 ・熊本市フェアトレード連携会議に参加し、フェアトレード製品の供給を行っている。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・取引において、差別やハラスメントを避けると同時に、障がい者が働く職場への発注を増やすことに取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働中の事故等を防ぐため、また労働環境を安全かつ衛生的に保つため、日ごろから社内の整理整頓、清掃を行っている。また地震に備え、ヘルメットや防災用品を用意している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の雇用に向け、同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制を整備している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		家事や育児、介護、ボランティア活動への積極的な参加ができる環境をすでに整備している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		代表自身も働きながら通えるグロービス経営大学院でMBAを取得し、SDGsの本場スウェーデンでの環境立国での研修ツアーに参加するなど常にできうる限りの研修の場を整備している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年1回、費用は会社負担で健康診断を行っている。また、日ごろの食事と健康の関係の知識の構築に加えて、最近ではSDGsと人の健康をベースに専門家が提唱しているプラネタリー・ヘルス・ダイエットの研究も進めている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		代表自身が50歳で起業した女性であるし、できるだけ障がい者が共に働く会社への発注を多く行うことでダイバーシティ経営に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	ウェブ会議やウェブセミナーを開催している。取引先との仕事上のやり取りについても、ほぼインターネットを通じて行っており、訪問者への感染症対策も行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	ウェブ会議やウェブセミナーの開催、オンラインでの受発注、管理を進めている。									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9		12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の適正な廃棄を行っている。 有害化学物質はそもそも取り扱わない。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを使用してエネルギー使用量を算出している。 電力については2021年～自然エネルギーの電力会社と契約しており、社内で使用するエネルギーはCo2排出量ゼロを達成している。 2024年2月から社用車も電気自動車に切り替え済みとなった。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを使用して温室効果ガス(Co2)排出量を算出している。 防災の観点からガス(プロパンガス)の使用(事務所での湯沸かし)は続けているため、温室効果ガス(Co2)排出量は殆どない。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		敷地内(約210坪)に幹回り130cmを超える樹木2本、100cm以上、90cm以上等を含む80本以上の樹木、及びその他多くの低木、草花等の維持・緑化に努め、鳥、虫、その他生物多様性の維持に取り組んでいる。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内外で使用するコピー用紙はすべて九州の間伐を支援する「木になる紙」を使用している。業務で使用するあらゆる資材は、まず日頃からストックしているリユース品を使用する。また脱プラについても工夫を重ね、リユース品やバイオマス品の使用を意識して進めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		日頃から節水に努めると同時に、夏は敷地内の木や草への散水を行い水と緑の保護を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		弊社の主事業として、環境に配慮した紙製品の開発、製造に取り組んでいる。具体的には、①アフリカに雇用を生み、WFTO(世界フェアトレード機関)認証の通称バナナペーパー、②国産竹100%原料の竹紙、③「木になる紙」、④森林認証紙などを使用した紙製品を供給している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	そもそも食品ロスのでない買い物を心している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・敷地内(約210坪)に幹回り130cmを超える樹木2本、100cm以上、90cm以上等を含む80本以上の樹木、及びその他多くの低木、草花等の維持・緑化に努め、鳥、虫、その他生物多様性の維持に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	再エネRE100宣言REアクションの参加企業である。 自然エネルギーから作られる電力を供給する「ハチドリ電力」に2021年から契約している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	九州の間伐材を利用して日本製紙八代工場で生産した「木になる紙コピー用紙」を販売している。社内でも常にコピー用紙として使用している。 社内の暖房設備として薪ストーブを使用している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	脱プラを目指して、社内使用のクリアファイルのリユース、再生クリアファイルの使用、紙製ファイルへの転換を行っている。包装資材としてのPPの使用中止、紙包装への転換を図っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	2024年2月から社用車を電気自動車に転換。県外出張時は高速バスを使用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	社内使用のエネルギーは自然エネルギー100%を完了している。社用車も電気自動車に転換済みとなった。次の目標はサプライチェーン全体の脱炭素化である。						7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		「製品・サービスの安全性と品質」を確保するため、生産のはじめの段階で、使用する原材料、工程、納品後に予想できる使用状況についてよく検討し、課題があるようであれば、改善したうえで生産を計画するようチェックしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者の方が働いておられる外注先とパートナーシップを構築し発注している。お客様のご希望により、名刺に点字を加えるサービスを行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	地域の紙・印刷・紙加工業者との連携で事業を進めている。 地域資源をできるだけ活用できるよう日々意識して事業展開している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	弊社は築47年の古家をリフォームして使用している。元々、木材が主体の建物であり、リフォームにあたって水回りの備品以外は木材を使用している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	主事業として、①アフリカに雇用を生み、SDGs17目標のすべてに貢献するワンブラネット・ペーパー(通称バナナペーパー)や竹害を改善する日本の竹100%で作られる竹紙などを使った紙製品の企画・製造・販売を通して、SDGs17目標を支援している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本市はフェアトレード・シティに認定されて2023年で12年目を迎える。 フェアトレード商材をメインの商材の1つとする弊社は、熊本市フェアトレード連携会議のメンバーであり、また、YMCAフィランソロピー協会のメンバーであり、それぞれに可能な限り協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		弊社のハザードマップを確認し、避難行動計画や防災対策備品の整備に取り組んでいる。2023年に耐震診断を受け、2024年は耐震工事を実施する。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsに関するセミナーを依頼によって開催している。 「SDGsターゲットファインダー(日本語版)」の販売を通じて、SDGsへの理解を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	フェアトレード・マルシェなどの場や、大学からの依頼により、バナナペーパーの紹介や弊社の活動を紹介したり、資料提供、実際に共に活動を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17